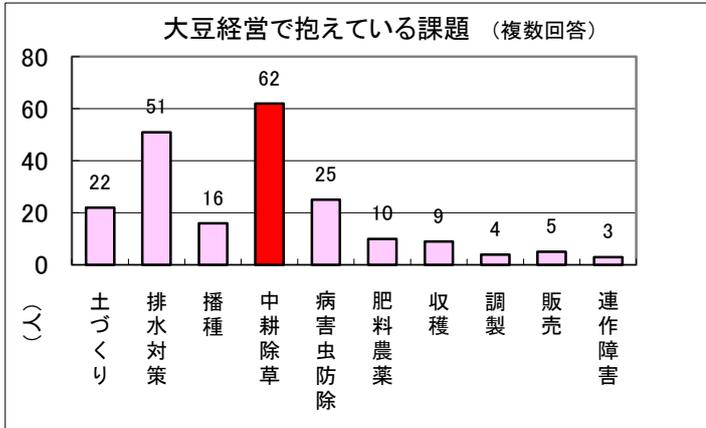


● 第2回現地研修会 暑い中・雨の中 ご参加ありがとうございました

6月20日、26日、7月1日と、県内3ヶ所の実証圃にて「第2回現地研修会」を開催しました。下越会場24名、中越会場35名、上越会場43名と多くのお客様にお集まりいただきました。



今回は、「中耕培土除草」をテーマに、クボタ 乗用管理機・各種中耕除草カルチの実演を行いました。

今年2月に新潟ユニソンプラザで開催しました、「大豆300A研修会」でのお客様アンケートで大豆経営で抱えている課題として「中耕除草」と回答されたお客様が最も多かったことから、皆様の関心の高さが伺えます。

お客様・関係者ともに大変熱心に話に聞き入っていました。



乗用管理機+ロータリカルチ



ディスクカルチ



田植機+カルチベーター

●中越会場：雨の少ない日が続き、研修会当日も30℃以上の蒸し暑い中での研修となりました。



●下越会場：雨の為7月1日に延期となりましたが…やっぱり雨。悪天候の中、なんとか実演も行うことができました。



●上越会場：上越農業普及指導センター様主催の「大豆栽培管理研修会」の一部として、各種中耕 除草カルチのご紹介をさせていただき、関係者・メーカー等を含め100名以上の参加となりました。



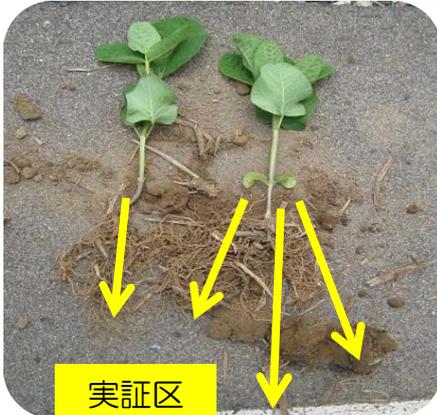
●大豆実証圃 順調に生育しています



長岡農業普及指導センター様によると、今年は雨が少なく、播種時の土壌水分が低下したため、播種後の苗立ちが揃うまで11～13日を要しました。

発芽が遅れた箇所もまれに見られましたが、その後の降雨により発芽が進み、生育は順調とのことです。

研修会では、(株)クボタの有原技術顧問が、スコップで実証区と慣行区の大豆をそれぞれ掘り、根の生育の違いについて解説をしました。



実証区と慣行区の大豆の根の違いを見てみて下さい



実証区ではバーチカルハローを使って細かく碎土した後、アップカットロータリで耕うん畝立て同時播種を行ったので、畝の表層には細かい土、下層には粗い土が集まり、団粒構造となっています。

そのため、発芽は良好となり、根は孔隙（土塊のすき間にある空気や水）が多い下層に向かって長く伸び、大きく硬い土塊にもしっかりと入り込んでいました。確かに実証区のほうが、根量も多く、茎も太いように感じました。



根が下に向かって長く伸び、根粒が根の15cm下くらいまでしっかりと付いているのは、水や空気が十分で、大豆の生育が良いからだといえます。

根粒を割ってみると、きれいな紫色をしており、これは根粒が活発に働いている証拠です。

この時期、根粒がしっかりと働いていると、しわ粒の発生も少なくなるそうです。

また、右の写真のタイプのような除草カルチが広く普及している北海道では、除草カルチで何度も除草に入り、大豆の葉をなでてやることで、エチレンが発生し、ズングリとした良い大豆に育つという農家の声が多いそうです。



●大豆研究会「中間検討会」開催のお知らせ

日時 平成21年8月8日（土）
午前10時～午後3時（午前9時30分受付開始）

会場 県央地域地場産業振興センター（三条市）

検討会内容（予定）

- 各地域大豆実証圃の生育経過について
- 高品質・安定多収生産のための技術

参加申込 8月3日（月）までに新潟クボタ販売店・営業所へお申し込み下さい。

参加費無料・昼食はこちらでご用意致します。
詳しくは案内チラシをご覧ください。

ご来場お待ちしております！

**大豆収穫に向けた
関連機械を多数展示！**

